

古事類苑

地部三

山城國

山城國ハ、ヤマシロノクニト云フ、原ト山背、山代、開木代等ノ字ヲ用キタリシガ、桓武天皇ノ延曆十三年、改メテ山城ト爲ス、蓋シ地勢ニ據レルナリ、東ハ近江ニ境シ、西ハ丹波攝津ニ至リ、南ハ伊賀、大和、河内、北ハ丹波ニ接シ、東西凡ソ六里、南北凡ソ十五里アリ、此國ハ古ヘ國府ヲ乙訓郡ニ置キ、乙訓葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世、綴喜、相樂ノ八郡ヲ管ス、仁明天皇ノ朝、勅シテ畿内ノ第一班ト爲シ、延喜ノ制、上國ニ列ス、明治維新ノ後、新ニ京都市ヲ設ケ、京都府ヲシテ一市八郡ヲ治セシム。

京都ハ、葛野、愛宕ノ二郡ニ跨ル、其奠都ハ、桓武天皇ノ時ニ在リ、事ハ皇都篇ニ詳ナレバ、宜シク就テ看ルベシ。

名稱

〔倭名類聚抄〕五國郡山城之夜萬呂

〔運步色葉集〕屋山城始曰山背、后改曰山城也

〔易林本節用集〕下山城雍州

〔日本風土記〕寄語島名山城羊馬失羅

〔日本紀略〕桓武延曆十三年十一月丁丑詔略此國山河襟帶、自然作城、因斯形勝、可制新號、宜改山背國爲山城國。